

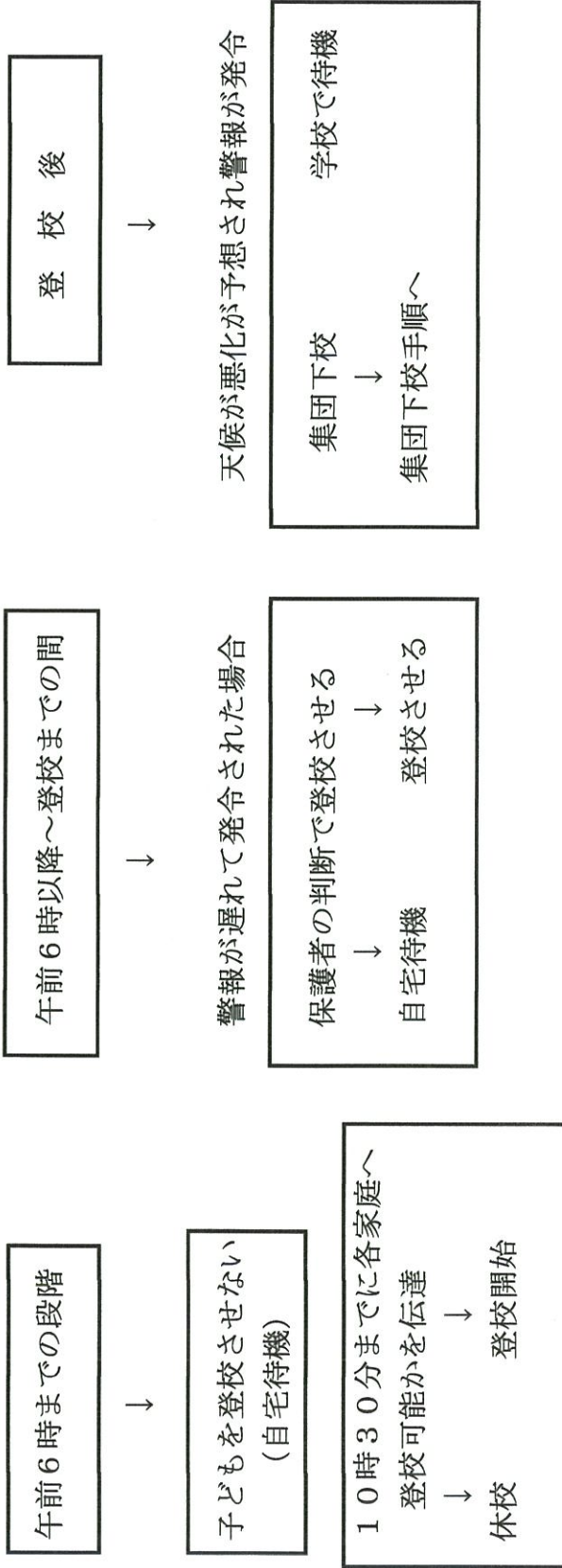
【教育長】

通告順	1	質問 議員	畑地議員
質問 項目	臨時休校でのタブレット活用を		
質問 内容	<p>先月、2月16日～17日にかけて暴風雪があり、沼田町においても不要不急な外出を制限する対策がとられていました。小中学校においては16日が臨時休校となり、子どもたちは自宅待機となっていました。</p> <p>学校運営では、過去にも悪天候や災害あるいは新型コロナやインフルエンザ等で臨時休校の判断をしていることがあります。今回の暴風雪災害では、前日からある程度予測も可能であり、下校時にタブレットを持って帰宅してもらうことで、次の日以降のリモートによる授業や安否・体調の確認、そして受験間近の中学校3年生にも特化した対応が可能であったと考える。</p> <p>①現状の学校臨時休校判断におけるフローチャートはどのようなものか。</p> <p>②前日からある程度予測されている休校なら、下校時にタブレットを持って帰宅してもらう計画はないのか。</p> <p>③2020年公立学校情報化ランキング（日経BP）で沼田小学校と沼田中学校の評価をどう認識しているのか。</p>		

臨時休校及び登校再開にいたる手順例

前日に翌日の悪天候が確実に予想される場合はタブレットを持たせるかどうか判断する

**当日「大雨・暴風（雪）・大雪の警報」がどれが発令している**



【町長】

<p>通告順</p>	<p>2</p>	<p>質問 議員</p>	<p>伊藤議員</p>
<p>質問 項目</p>	<p>「オール沼田」を町民に浸透させるには</p>		
<p>質問 内容</p>	<p>本定例会における町政執行方針並びに沼田町第6次総合計画などでもキーワードとして「オール沼田」によるまちづくりを進めると宣言され、現在、展開実行されているところです。</p> <p>全町一丸とした取り組みを目標としていくためには、町民が町政の内容を理解し、一体となって参画してもらいたいと思いますが、各種懇談会でも参加人数が少ないように感じられます。コロナ禍においては会合を敬遠される町民もいると思いますし、町長はじめ各課も色々と工夫を凝らし、情報発信しながら努力しているところではありますが、一人でも多くの町民に町政の現状や課題について町長の考えを伝え、行政への関心を高めることが政策実現に向けた第一歩だと考えますので質問いたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 横山町政において、町民の行政への関心の高さと参加状況についてどのように感じているのか</li> <li>2. ふるさと創造懇談会の在り方や事業に対する町民意見募集の方法を改善する取り組みが出来ないか</li> </ol> <p>町民が主役とする「オール沼田」で協働のまちづくりを推進していくための町長の考えを伺いたい。</p>		

## 基本計画

# 施策 1 協働のまちづくりの推進

### 現状と課題

- ◆「協働のまちづくり推進のための指針」及び「行動計画」が策定されていますが、町民への浸透が十分ではないことから、今後はより一層の浸透を図るとともに、指針及び計画に沿った活動の広がりを推進していく必要があります。
- ◆町民と行政が自分たちの役割を認識しあい、課題を解決していく環境づくりが必要となっています。
- ◆町民の活動やまちの情報を町民に適時提供し、町民との情報共有を図ることが必要となっています。
- ◆各町内会の高齢化等により、地域コミュニティ活動の低下、行事やまちづくりへの参加者の減少が懸念されます。
- ◆町民同士の交流の機会を創出し、町内会活動の活性化と円滑化が求められています。

### 施策の方針

- ◆自治振興協議会\*の円滑な運営の支援に努めます。
- ◆協働のまちづくりを推進するため、町政への町民の参画機会の拡充や、各種協働の取り組みへの支援に努めます。
- ◆協働の意識づくりを図るため、啓発活動の強化を図ります。
- ◆まちの情報や町民の活動を適時情報提供し、町民との情報の共有を図ります。
- ◆協働の推進体制や相談体制、支援体制の整備に努めます。
- ◆地域環境美化活動、地域安全活動、地域コミュニティ活動等に対する支援に努めます。
- ◆将来人口を見据えた集落や町内会活動の支援に努めます。

## 基本計画

# 施策 2 広報広聴の充実

### 現状と課題

- ◆情報量が多くなる中で、地域住民への分かりやすく、タイムリーな情報発信が必要となっています。
- ◆町民の声を広く聴き、町政へ反映させる仕組みづくりが必要となっています。
- ◆町の魅力を町外へ効果的に情報発信する仕組みづくりが必要となっています。

### 施策の方針

- ◆町民へのタイムリーで的確な情報発信に努めます。
- ◆町民の意見等を適切に町政に反映させるための広聴活動の充実に努めます。
- ◆まちの情報を様々な媒体を活用し町内外へ効率・効果的に発信する方策に取り組みます。

【町長】

通告順	3	質問 議員	高田議員											
質問 項目	基金残高が減少している理由は													
質問 内容	<p>令和元年度以降、基金の減少が目立ちます。ふるさと納税の寄付金集めに苦戦している状況が伺えますが、一般会計の予算ベースで令和2年度と令和3年度で5億円以上の基金の減少が見られます。</p> <p>一方、起債残高は29億円台を維持しており、防災対策等の大型事業を展開しつつ繰上償還を行っていることが良い方向に働いています。</p>													
	<table border="0"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度末 (決算ベース)</th> <th>令和2年度末 (現在見込み)</th> <th>令和3年度末 (予算ベース)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基金残高</td> <td>30億8247万円</td> <td>28億3148万円</td> <td>25億6460万円</td> </tr> <tr> <td>起債残高</td> <td>29億4164万円</td> <td>29億6986万円</td> <td>29億1131万円</td> </tr> </tbody> </table>		令和元年度末 (決算ベース)	令和2年度末 (現在見込み)	令和3年度末 (予算ベース)	基金残高	30億8247万円	28億3148万円	25億6460万円	起債残高	29億4164万円	29億6986万円	29億1131万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基金残高が減少している理由は何か。</li> <li>・令和2年度末の基金残高は、ふるさと納税で3億円の基金積み立てを見込んだ数値か。達成できるのか。</li> <li>・基金残高と起債残高は、ある程度コントロールしながらの財政運営が望ましいと考えるが町長の考えは。</li> </ul>
	令和元年度末 (決算ベース)	令和2年度末 (現在見込み)	令和3年度末 (予算ベース)											
基金残高	30億8247万円	28億3148万円	25億6460万円											
起債残高	29億4164万円	29億6986万円	29億1131万円											

【町長】

<p>通告順</p>	<p>4</p>	<p>質問 議員</p>	<p>高田議員</p>
<p>質問 項目</p>	<p>沼田町には「食」の観光イベントが必要だ</p>		
<p>質問 内容</p>	<p>令和2年度上半期の市町村別観光客数が、空知総合振興局より発表されました。それによると沼田町は39,600人（前年比-61.0%）で、残念ながら空知管内24市町村の最下位です。</p> <p>「夜高あんどん祭り」のように短期間で爆発的に人を集めるイベントはありますが、「食べさせる」ことを目的として町内外から集客できる観光イベントがありません。</p> <p>以前は「肉牛まつり」のようなイベントがありましたが、産業構造の変化からか中止になって10年以上が経過しました。当時のことを思い出してみると、全く知らない都会的な老夫婦がワインを片手に沼田牛を食べている姿が懐かしく思います。</p> <p>美味しいものを食べに来たり、美味しいものを買いに来る観光イベントが必要と思いますが、農産物の作付け収穫やそれらの加工も含めての事業展開となります。町だけがやるのではなく、生産者や加工業者を巻き込んだ「美味しい特産品」の開発が急務と思います。</p> <p>町長の考えを伺う。</p>		